

問8 自由記述について（概要版）

皆さんからいただいた意見で最も多かったのは、経済的・心理的な支援の拡充、休暇を取得する際の周囲の理解（キャリアに影響しない状況づくり）の浸透を図るべき、これらの複合的な支援が必要という意見でした。

【行政の経済的、金銭、施設、物資支援】

家庭への出産養育に関する経済的支援
医療費補助又は無償化
教育費無償化
ひとり親に対する医療保障
出産育児期の雇用の安定
地域差のない施設の充実
保育施設の充実
図書館や公園といった公共施設の充実
子育て世帯への物資支援
外国に倣う制度拡充（育休取得中の金銭補助、未就学児の無償育児、学費無償化）

【企業努力による心理的援助】

男性が育児関連休暇を取りやすい職場環境の充実
地域や企業による妊婦及び子育て世帯対象の福祉厚生制度の発信
出産後に勤務し続けられる職場環境づくり
働き方改革の促進による子育て世帯の自由時間の増大

【子育て関連サービスの充実】

子育て支援センターによる悩み相談環境づくりの充実 （子育ての不安、出産するかどうか、自分の生き立ちについて）
子どもの預かり強化（早朝対応、待機児童解消、子の体調不良時）
保育の質の向上
家事代行サービスの充実
病児保育サービスの充実

【社会の協力】

地域で子育てを協力する仕組みづくり
独身を対象とした子どもに対する親近感の増幅
子育て世帯と地域住民の交流機会の増加
ひとり親に対する差別偏見の解消

【広報の強化】

少子化の進行による影響の広報
行政の実施政策の広報の拡大

【その他】

データ分析

結婚支援の強化